

平成27年度全国学力・学習状況調査について

去る4月21日に行いました全国学力・学習状況調査につきまして、学校たよりでも簡単に結果についてお知らせしたところですが、改めて本校における結果分析を行いましたので、お知らせいたします。本校としましても、今後の指導に向けて改善事項を明らかにし取り組んでまいります。どうかご家庭でも参考にさせていただき、お子様の力の伸長につなげていただければ幸いです。

◎全体的に

今年度の結果は、国語Bと算数Aにおいては三重県平均、全国平均を2ポイントほど上回っていましたが、国語A、算数B、理科は2～4ポイント下回っていました。しかし、無回答による空欄は三重県平均、全国平均よりも少なく、最後まであきらめずに解答を書こうと努力した児童の姿が伺われます。

●児童質問用紙の結果から

◆朝食を毎日食べている割合は、本校91.7%、県・全国は、95.5%でした。食べていないという児童は、本校8.4%、県・全国は、4.5%でした。6年生の児童62名の中には朝食を食べてこない児童が5名もいることとなります。1日のエネルギーの源なる朝食をしっかり取って登校してほしいと思います。

◆難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する割合は、本校66.6%、県・全国は、76.6%でした。また、自分にはよいところがあるかの割合は、本校70%、県・全国は76%でした。自分に自信のない児童が多いように思います。もっと児童が主体的に行う活動を増やし、達成感や充実感を持つようにしていく必要があると思います。また、学校や家庭において、子どもたちを褒めたり、認めたりする言葉がけをもっともっと増やしていくことが大切であるように思います。

◆テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしている時間は、4時間以上、3時間を合わせると、本校48%、県・全国は、36%でした。また、テレビゲームを2時間以上している割合は、本校41.6%、県32%、全国30.2%で、県・全国より10%も多いです。家に帰ってからテレビや・DVDを見る時間・ゲームをする時間がとても多いことが伺えます。宿題や自主勉強する時間、睡眠時間が少なくなる原因にもなります。テレビを見る時間やゲームの時間を決めて、勉強時間や睡眠時間を増やしてほしいと思います。

◆携帯電話・スマートフォンの使用時間も、1時間以上使っている割合は、本校23.3%、県17.7%、全国16.9%、と多いです。家に帰ってからの生活を見直す必要があるように思います。ご家庭で、携帯やスマートフォンの使用時間についてのルールを決めて、児童が長時間携帯やスマートフォンを触ることのないようにしていく必要があると思います。学校においても、時間を大切に使う指導などを行っていききたいと思います。

◆1日の勉強時間の割合は、3時間以上、本校6.7%、県9.1%、全国11.1%、2時間以上3時間より少ない、本校16.7%、県14.9%、全国14.9%、1時間以上2時間より少ない、本校31.7%、県34.4%、全国37%、30分以上1時間より少ない、本校26.7%、県27.8%、全国25.1%、30分より少ない、本校11.7%、県10.5%、全国9.1%、全くしない本校6.7%、県3.2%、全国3%、気になるのは、30分より少ない、全くしない児童が合わせて18.4%（62名中11名）と多い。来年は中学生です。3年後には進路が待っています。今から家庭学習の習慣をしっかりとつけていきま

しょう。玉城町では、「家庭学習のてびき」の中に、各学年の宿題の時間が決められています。その時間をしっかり守るよう学校と家庭が連携して取り組む必要があると思います。

◆土曜日や日曜など学校が休みの日に1日どれぐらいの時間、勉強しているかの割合は、4時間以上、本校3.3%、県4.8%、全国6.7%、3時間以上、本校0%、県4.2%、全国5.2%、2時間以上、本校11.7%、県9.5%、全国12.6%、1時間以上、本校18.3%、県27.3%、全国32.2%、1時間より少ない、本校48.3%、県39.6%、全国33%、全くしない、本校18.3%、県14.5%、全国10.2%、本校の児童は休みの日に勉強する時間が大変少ないという事が言えます。休みの日にスポーツ少年団等の試合などがあり勉強する時間がないことも伺えますが、それにしても少ないように思います。宿題が無くても、勉強する時間を作って家庭学習（自主勉強）をしていきましょう。

◆学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）の割合は、30分以上、本校31.7%、県34.9%、全国37.7%、全くしない、本校15%、県21.9%、全国19.9%、県や全国に比べると読書の時間は少ないように思いますが、全く読まないという人が少ないことも分かりました。本にもっと親しむことができるように、学校でも指導していきたくと思います。また、読書の時間を作るなどご家庭でも工夫していただきますようお願いいたします。

◆家で、自分で計画を立てて勉強をしている割合は、本校50%、県60.4%、全国62.8%、県、全国に比べると計画を立てて勉強している児童が少ないことが伺えます。学校でも指導していきませんが、家庭でも話合いを持っていただきたいと思ひます。

◆学校に行くのが楽しいと思う割合は、そう思う、本校35%、県55.1%、全国55.3%、どちらかと言えばそう思う、本校48.3%、県31.8%、全国31.7%、でした。気になるのが、17%（約10名）の児童が、「学校は楽しくない」と答えていることです。このことは、学校としても深く受け止め、児童が「学校が楽しい」と思うような学校づくりを目指していきたくと思います。学校生活の大半は授業であることを考えると、子どもたちが意欲・関心をもって、「楽しい」「おもしろい」と実感できる授業づくりに取り組んでいきたくと思ひます。

※ このような課題については、学校としてもしっかりと取り組んでいきたくと思ひます。そのためにも、今まで以上に学校と家庭が協力していく必要があります。また、さらなる学力の向上をめざしていくためにも、今まで以上のご支援・ご協力をお願いいたします。

●国語の結果から

◆漢字を読むでは、「招く」を「まねく」と正しく書いている。本校95.0%、県97.5%、全国97.5%でした。「信念」を「しんねん」と書いている。本校95.0%、県96.1%、全国96.0%でした。「承知」を「しょうち」と書いている。本校91.7%、県91.5%、全国92.5%でした。昨年と比べると読む力は児童についているように思ひます。各学年で習う漢字は、最低読めるように指導していきたくと思ひます。

◆漢字を書くでは、「浴びる」と正しく書いている。本校51.7%、県57.7%、全国58.4%、「巢」は、本校71.7%、県73.5%、全国76.5%、「病院」は、本校75.%、県71.2%、全国74.9%、でした。習った漢字が書けるように、普段から漢字を使うよう指導していきたくと思ひます。また、漢字に興味を持って自主学習できるように工夫していきたくと思ひます。

◆文の主語として適切なものを選択する正答率は、本校33.3%、県51.5%、全国53.1%、でした。主語、述語は文の骨格をなし、明確な文を書くうえでも最も基礎となるものです。文や文章を理解したり表現したりするときに強く意識できるように指導していきたく。再度、基礎・基本をしっかりと定着させる手だてを行っていきたくと思ひます。

◆国語B問題では、問題を読み理解し的確に答えることができる児童が多かったように思います。子どもたちが読み取ったり調べたりしたことを新聞等にまとめるなどの取り組みを行っていきたいと思います。

<対策>

- ・資料、本、新聞、ニュース、講演など筋道だった文字・言葉に触れる機会を増やしていきたいと思います。
- ・要旨を明確に持ち、筋道を大切に話したり書いたりできるようにしていきたいと思います。(日記、短作文、振り返り)
- ・発言や発表への抵抗をなくし、自信を持てるようにしていきたいと思います。
- ・国語の授業改革に力を入れ、それぞれの学年で身につけなければならない基礎・基本を定着させるようにしていきたいと思います。

●算数の結果から

◆8.9-0.78の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ問題の正答率、本校63.3%、県73.5%、全国71%、でした。他の問題の正答率を見ると、基礎的・基本的な問題では、県・全国よりも正答率が高い結果でした。この問題においては、およその数についての理解が定着してないように思います。およその数について、しっかり復習していきたいと思います。

◆午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める問題の正答率、本校66.7%、県72.6%、全国74.8%、でした。日常生活の中で必要となる時刻や時間を求めることが弱いと言えます。時刻や時間について学び直しをしていきたいと思います。

◆作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ問題の正答率、本校45%、県55.7%、全国54.6%、でした。平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解していないことが伺えます。再度、図形の約束や性質についての理解を深めていきたいと思います。また、学習したことを生活の中で活用する機会を作り、定着を図っていききたいと思います。

◆トマトを7個買うとき、最も安くなる買い方を選び、その時の代金を書く問題の正答率、本校53.3%、県65.1%、全国64.8%、でした。日常生活の事象の解決に、割合や単位量当たりの大きさを活用する力が弱いことが伺えます。授業の中において日常的な事象を扱った問題を作成するなど、学習したことを活用する機会を作るなど、工夫が必要であると思います。

◆20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く問題の正答率、本校6.7%、県11.6%、全国13.1%、でした。全体に低い値でした。比較量と割合から基準量を求める力が弱いことが伺えます。基準量、比較量、割合の関係を正しくとらえるように、学び直しをしていきたいと思います。

<対策>

- ・計算や知識の定着は大体認められ、計算・図形・数量問題に対しては概ね対応できているので、もっと難題と出会わせたり、今まで学習してきたことをいくつか組み合わせて解くような問題に出会わせたりして、さらに活用力をつけていきたいと思います。
- ・『小数』『分数』『割合』『速さ』の学習を丁寧に取扱い、自信を持って問題に向き合えるようにしていきたいと思います。
- ・いろいろな視点からの見方や考え方を認め、その中で幅広く柔軟な思考力を養うような授業づくりに取り組んでいきたいと思います。
- ・学習したことを活用することに意識を持って、授業改革を行っていききたいと思います。

●理科の結果から

- ◆振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ問題の正答率は、本校38.3%、県59.8%、全国61.2%、でした。振り子の運動の規則性について理解している児童が少ないことが伺えます。今後、学び直しをする必要があると思います。また、学習したことを生活の中で活かす場面もなく、忘れてしまっている児童が多いと考えられます。児童の心（記憶）に残るインパクトのある授業や、学習したことを活用する場の設定など工夫していきたいと思います。
- ◆示された器具（顕微鏡）の名称を書く問題の正答率、本校48.3%、県61.6%、全国61.6%、でした。また、顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ問題の正答率、本校48.3%、県61.6%、全国61.6%、でした。このような結果から、児童は、学習場面や日常生活の様々な機会を通して顕微鏡を使って観察する経験が少ないことが伺えます。授業の中で意図的に必要性を作り、必要感を持って使っていく場面を作っていく必要があると思います。

<対策>

- ・器具の使い方や用途について理解させ、学習場面や生活の中で使う場面を意識的に作ってきたいと思います。
- ・理科で学習した知識を、他の教科（特に算数）の問題などに取り入れるなどの工夫をしていきたいと思います。
- ・自然観察や実験を大切にし、考察したことや判断した根拠や理由を説明できるようにしていきたいと思います。

●学校質問紙の結果から

- ・話し合い活動等の中で、自分の考えを相手に伝えることは出来ていますが、相手の立場に立って相手の話を最後まで聞くことが弱いように思います。
- ・補充学習等放課後や長期休業中に行っていますが、宿題忘れが依然としてある現状があります。今後も家庭との連携を取っていく必要があると考えます。
- ・学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始チャイムを守る）の徹底を図っています。児童は高学年としての自覚も芽生え、落ち着いて学習しています。
- ・コンピューター等の情報通信技術を活用した授業が全体に少ないように思います。今後、研修を積み授業に取り入れていきたいと思います。
- ・地域の人材を外部講師として招聘した授業は行ってはきましたが、少ないように思います。今後もっと地域の人材を生かした授業を行っていききたいと思います。また、補充学習の時に地域の方にお手伝いしていただけるよう考えていきたいと思います。

6年生は、昨年4月から、全国学力・学習調査の過去の問題を何度もやってきました。問題に慣れること、解き方が分かること、無回答をなくすことを目標に取り組んできました。一人ひとりが今回の学力調査に最後まで諦めず粘り強く問題と向き合ったことが、今回のような結果につながったと思います。

今回の学力調査の結果を受け止め、子どもたちに確かな学力をつけられるよ、授業改革をはじめ国語科の研修に取り組んでいきたいと思っています。また、子どもたちが学ぶことの楽しさを実感できる授業づくりに取り組んでまいります。今後も変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。